

令和2年度

朝来市立竹田小学校 学校経営方針

朝来市立竹田小学校長

和田 浩明

学校理念 「いのち輝かせ、夢と幸せをはぐくむ学校づくり」

教育の目標は、「あたま」「こころ」「からだ」が一体となった「いのち」を輝かせる「ひとづくり」である。子どもが「いのち」を輝かせるのは、めざす何かに魅せられ、夢中になって熱中し、目標を達成していくとき、成功したとき、自己実現のときである。つまり、輝くのは感情の表出ではなかろうか。この表出は、思いや願い「夢」や「幸せ」と強く関わっている。それは、思いが叶うとき、あるいは願いを実現しようとするときに現れるものであろう。

竹田小学校に関わる全ての「ひと」「こと」「もの」が互いにつながり、一人一人の子どもの願いや思いに寄り添い、支え、「夢」と「幸せ」をはぐくみ、「いのち」を輝かせようではないか。学校・家庭・地域・関係機関が当事者意識を持って連携協力し、予測不可能な未来社会となっても「夢」と「幸せ」を求めて、こころ豊かに自立し、たくましく道を切り拓いていく資質・能力をはぐくむ学校をめざす。

学校教育目標 未来を切り拓く、こころ豊かで自立した児童の育成

— コミュニティ・スクールとして —

めざす児童像

学ぶ子 自ら学びに向かう子
★学び生きる喜びと、考える楽しさをもつ子
★教材・仲間・自分とつながり、学び合い、共に高まり合う子

強い子 自立して未来に挑戦する子
★「いのち」を大切にすること
★粘り強く最後までやりぬく子
★健康でたくましく生きるための体づくりに励む子

やさしい子 自他を認め、大切にできる子
★認め合い支え合う、思いやりのある子
★あいさつ・笑顔・愛語あふれる子
★思いを聴き合い、伝え合う子
★「ふるさと竹田」を愛する子

めざす学校像

幸せあふれる学校
★熟議、協働するコミュニティ・スクール
(安心・安全、ふるさと竹田とともにある学校)
★共に学び合い、生きる喜びのある学校
★一人一人が認められ、活躍の場がある学校
★あいさつ・笑顔・愛語あふれる学校
★愛され、信頼される、魅力ある学校

めざす教職員像

共に高まり合う教職員
★一人ひとりの子どもに、温かく深く寄り添い、良さと力を引き出し、共に育つ教職員
★広い視野を持ち、常に課題意識をもち、謙虚に自己を磨き続ける教職員
★志高く、情熱をもって教育方法の改善をし、授業づくり・学級づくりに努める教職員
★子ども・保護者・地域の願いと思いを大切にし、信頼される教職員

基本方針

- ◇コミュニティ・スクールとして、竹田の「ひと・こと・もの」とつながり、安全・安心で笑顔いっぱい、元気いっぱい、幸せあふれる「学校 児童 教職員」づくりを進める。
- ◇社会的自立に向けたキャリア形成の支援、兵庫型「体験教育」の推進やグローバル化に対応した教育の推進を図り、自立して未来に挑戦し、未来を切り拓き、創造する資質能力の育成を図る。
- ◇「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の育成を図り、「生きる力」を育む教育を進める。
- ◇人権教育、特別支援教育の視点を全ての基本とし、『竹田小ユニバーサルデザイン構想』の継承と深化を図る。

- 基礎基本の徹底を図るとともに、誰にとっても分かりやすいユニバーサルデザインの授業づくり、協働し学び合う主体的・対話的で深い学び、言語活動（ことばの力）の充実等により、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を育む。
- 「全国学力・学習状況調査」等の結果分析を踏まえ、国語、算数、外国語を中心に、ICT等を効果的に活用し、体験的な学習活動や探求活動等を充実するなど、魅力ある授業づくりを推進する。
- 徹底した子ども理解の上に立つ環境づくり、集団づくり、発達の筋道を理解した指導・支援により、一人一人が大切にされる学校人権文化の構築と、安全・安心な学級・学校づくりをめざす。
- インクルーシブ教育システムの構築を見据え、一人ひとりの教育的ニーズを把握し、きめ細やかな教育的支援を実施する。
- 道徳教育、社会的自立に向けたキャリア教育、ライフスキル教育、体験教育の充実を図り、人間力を育成し『樹徳』（人格形成）を図る。
- 縦割り班活動や児童会活動を通して、自己有用感を高め、人間関係形成力を育成する。
- 家庭、地域と連携し、豊かなこころを育む「読書活動」の充実を図る。
- 防災教育、防災体制等、「兵庫の防災教育」の充実を図る。
- 芸術・文化、音楽活動等を充実させ、感性豊かで情動の安定等、豊かなこころの育成を図る。
- 生涯にわたる健康の基礎を培うとともに、食育を組織的・計画的・継続的に進める。
- 家庭、地域と連携し、あいさつ・返事・靴そろえ等、基本的生活習慣や学習習慣の確立、基本的な生活技能の習得、物事に向かう体づくりを進める。
- こども園、中学校、関係機関等との連携を一層深め、連続性のある教育活動を推進する。
- 学校評価システム、教育相談活動の充実により、家庭・地域・関係機関との協働を図る。
- 恵まれた『竹田の歴史・文化・風土・こころ・ひと等』に学ぶ体験学習をより一層進め、豊かな心を持ち、ふるさとに愛着と誇りを持つ児童の育成を図る。
- 地域に開かれた学校づくり・地域とともにある学校づくりの推進を図る。
- 教職員としての資質と実践的指導力の向上と、社会の変化に対応した教育観を培うことをめざして、研究と修養に努める。
- 子どもと向き合う時間を確保するため、効率的、機動的な学校運営を進める。
(働き方改革の推進、竹田小ルールブックの充実・接遇マナーの充実等)
- 全職員が「チーム竹田」として共に学び、参画・協働し、組織力、学校力を高める。

★コミュニティ・スクールとして、熟議・協働の力をつける。

(○地域の自然、歴史を知り、伝統行事に学ぶ ○地域に根ざした体験活動の充実 ○区長会、地域自治協議会、「竹田の子どもを守る会」、民生・児童委員会、老人クラブ、竹田地区等各組織・団体等との連携 ○和田山特別支援学校、福祉施設・団体等との交流 ○学校からの情報発信と収集の充実：学校だより、学級通信、保健だより、竹田コミセン掲示板、竹田小Webサイト、ケーブルテレビ、報道機関、オープンスクール等)